

元祖 モリモリ書店

第81話 R03.02.26(金)
「AIには決して
生み出せないもの。」

★今回、紹介する本は、『それをAI(あい)と呼ぶのは無理がある』(著/支倉凍砂、出版/中央公論新社)。

小説『狼と香辛料』などで有名なライトノベル系の作品が多い著者の最新作。ライトノベルとはひと味違う、「AI」をテーマにした青春物語。

少し未来の日本。生まれたときから「AI 端末」がそばにあった5人の高校生たちが主人公。

一人につき一体、「AI」をもつことができ、それぞれ相棒のようにして、ともに暮らす主人公たちが、完璧なAIにも解決できない夢や恋といった現実の問題にぶつかりながら成長していきますー。

AIと共存する若者たちの姿がとても自然に描かれているのが特徴。相棒であるAIとともに自分自身と向き合いながら、「人間らしさとは何か」、「現実を生きていくとはどういうことか」を考えさせてくれる作品です。5人の物語が次第につながっていく展開も最高。



この本も新刊で入荷していますよ。

カバリーイラストが、あつてまひ、登場人物をエリゲんて描いてます。

★そんな物分かりの

よさは、AIに任せろ

おけばいい。
(p.221)

すべては偶然の産物

みたいなものだけと

世の中そんな
ものかもしれない。
(p.124)

AIとの生活が、
あたりまえになつた。
どんな生活になるのだろう？
どんな青春になるのだろう？



BIFFE. ★★★★★